

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶今月号の特集は「腹部の最新画像情報 2025」です。毎年恒例の好評企画であり、昨年の第 37 回日本腹部放射線学会で発表された演題の一部を、陣崎雅弘理事長および新本弘大会長のご承諾のもとに誌上再録しています。栄えある打田賞については *Abdominal Radiology* (NY) 誌に推薦投稿され、online ahead of print としてすでに掲載されておりますので、そちらも合わせてご覧ください (Yamamoto S et al: Crizotinib-associated hepatic and renal cysts: a case report with MRI findings. *Abdom Radiol* (NY) 2025 Mar 26: doi: 10.1007/s00261-025-04894-z. PMID: 40137948)。

▶今回の論文を読むと、多岐にわたる疾患での画像診断の奥深さを改めて強く感じました。特に、まれな疾患や非典型的な病態の診断がいかに困難であるかは常日頃から経験しています。例えば、若年型顆粒膜細胞腫や異所性肝細胞癌など希少癌の非典型例では鑑別がいかに難しいかはいうまでもありません。また、子宮腺筋症の膿瘍形成や腎孟扁平上皮癌が炎症に酷似する例、あるいは腎盂アミロイドーシスが腎盂癌と誤診されやすいことは、良悪性の鑑別すら時として困難であることを示しています。このような場合、腫瘍の内部構造、造影パターン、ADC 値などの詳細な画像所見に加えて、臨床経過や病理診断による総合的な判断が不可欠です。さらに、医原性動脈解離や大網梗塞のまれな合併症、異所性気管支動脈の評価のように、医療手技に伴う予期せぬ事態や複雑な解剖学的バリエーションの評価が、患者の予後に直結する緊迫した現場も垣間見えます。全体として、画像診断が単なる形態の記述を超え、病態生理を深く理解し、臨床情報と統合することで、最適な治療方針決定に貢献する専門性の高い分野であることがあらためてわかり、身の引き締まる思いがします。これらの論文は画像診断医に求められる幅広い知識と多職種連携の重要性をも浮き彫りにしています。臨床現場での貴重な経験を共有できる本特集は、得難い財産であり心して読み込みたいところです。

▶毎回、同じ思いを開陳して申し訳ございませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切に『臨床放射線』は特異な編集方針をもつ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てていただければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第 70 巻 第 4 号

2025 年 7 月 10 日発行
隔月 (1, 3, 5, 7, 9, 11 月) 10 日発行

定価 3,960 円 (本体 3,600 円 + 税 10%)

年間購読料金
定価 23,760 円 (本体 21,600 円 + 税 10%)
[年間 6 冊の誌代]
年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
TEL 03 (3811) 7165 編集部直通
TEL 03 (3811) 7184 営業部直通
FAX 03 (3813) 0288
ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社
広告申込先 文京メディカル TEL 03 (3817) 8036

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。